

タイトル: In-Fusion反応を利用した複数箇所への同時変異導入例

カテゴリ: 変異導入

キーワード: クローニング、In-Fusion HD、複数断片、クローニング効率

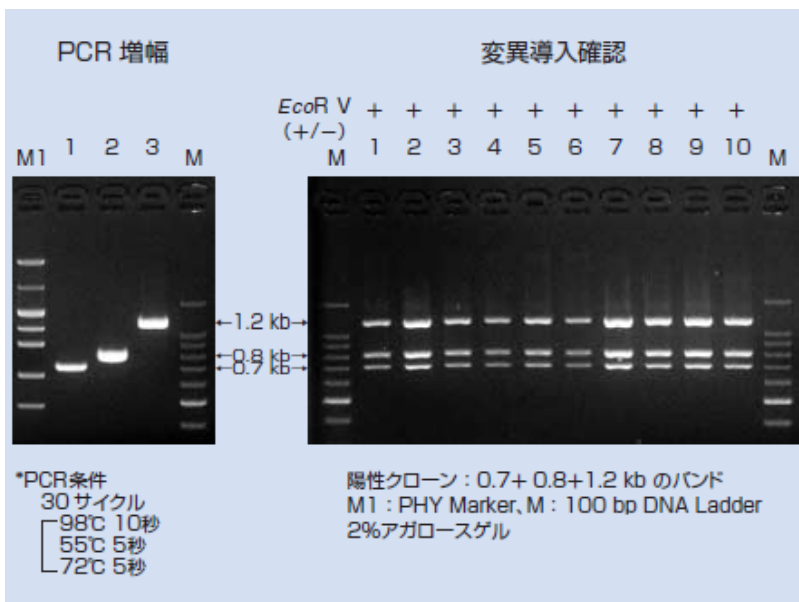
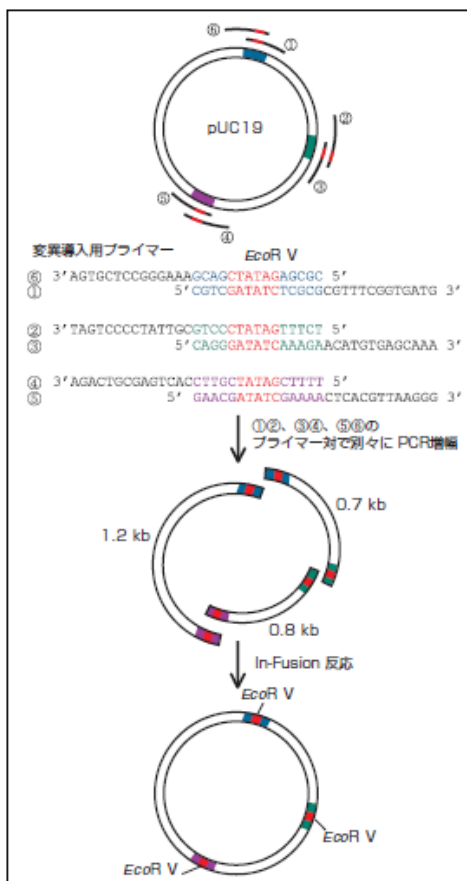
データソース: タカラバイオ株式会社

方法:

pUC 19を鋳型に、PCR増幅後の3つのDNA断片の末端がEcoR V認識配列導入変異部位を中心に15塩基重複するように設計したプライマーを用いてPrimeSTAR[®] Max (製品コード [R045A](#))でPCR増幅した。それぞれの増幅断片を連結させるIn-Fusion反応は、各PCR産物 1 μlを用い、Cloning Enhancer処理とIn-Fusion反応を同時に行う簡便プロトコールで行った。形質転換にはE. coli HST08 Premium Competent Cells (製品コード [9128](#))を使用した。3カ所へのEcoR Vサイトの導入の確認は、各形質転換体より調製したベクターのEcoR Vによる切断パターン(0.7 kb + 0.8 kb + 1.2 kb)により行った。

結果:

In-Fusion反応液の1/10量を播種し、3,956個の形質転換体コロニーを取得しました。任意にピックアップした10個のクローンから調製したプラスミドDNAのすべてに、3カ所のEcoR Vの同時変異導入が確認できました。



本実験に使用したIn-Fusion[®] Advantage PCR Cloning Kitは終売となりました。現在は、より性能に優れたIn-Fusion[®] HD Cloning Kit (製品コード [639648-639650](#))の使用を推奨しています。

備考: